

韓国語コミュニケーション

責任者名：鄭 長勲

学期：後期

対象学年：1 年

授業形式等：外国語

◆担当教員

鄭 長勲(外国語（韓国語） 兼任講師)

◆一般目標（GIO）

前期に学習した内容を考慮しながら授業を進める。前期のうちに必ずハングルを読めるようにしておくこと。ハングルが読めないと後期の学習についていけなくなる。

後期では、基本的な文法のマスターと会話が出来るようにする。韓国の文化にも触れ、日本から最も近い国である韓国についての知識を深める。

◆到達目標（SBO s）

日本語の文を韓国語で書ける。

日本語の単語を韓国語で書ける。

韓国語で書いた文を見ないで言える。

韓国語と日本語や英語の相違点・文化の比較が説明できる。

◆評価方法

各授業回に行う課題提出（100％）で評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間 ・ 場所など	メールアドレス・連絡先	備考
鄭 長勲	授業終了後		

◆授業の方法

毎回、前回学習した部分の復習の意味で小テストを行う。これは成績の評価にもつながる。内容は、日本語の文や単語を韓国語に書くこと。そしてその文を見ないで言えること。その後、その日の授業を教科書に沿って進む。

韓国語と日本語や英語の相違点・文化の比較についても触れる。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	韓国語へ旅しよう初級	李 昌圭	朝日出版社	
参考書	適宜指示する。			

◆DP・CP

[DP2] コンピテンス：世界の現状を理解し，説明する力

コンピテンシー：国際社会の現状と背景を理解し，地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。

[DP6] コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において，他社との円滑な意思の疎通を行い，互いに価値観を共有し，適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

[CP2] 国内外の医療・保健・福祉の現状を理解し，基礎・臨床・社会医学の知識を基に，コク s 大社会で活躍できる基本的能力を育成する。

[CP6] 他者の意見を尊重し，明確な意思疎通のもと，円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

課題を必ずやってくること。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

予復習各 1 時間程度習熟度にあわせ必要な時間学習すること。

◆全学年を通しての関連教科

韓国語入門（1 年前期）

◆予定表

注意事項：ハングルが読めることを前提に授業を進める。

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1-2		9.8	5 ～ 6	1. 前期のおさらい	・ 前期に学習した内容をチェックし，復習を行う。	鄭 長勲	
3-4		9.15	5 ～ 6	2. 尊敬形 教) pp.121-125	・ 尊敬形及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
5-6		9.29	5 ～ 6	3. 不規則活用 教) pp.126-129	・ 不規則活用及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
7-8		10.6	5 ～	4. 過去形 教) pp.135-	・ 過去形及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	

			6	141			
9- 10		10.13	5 ～ 6	5. 連結語尾 教) pp.142- 146	・ 連結語尾及び会話文の練習を行 う。	鄭 長勲	
11 - 12		10.20	5 ～ 6	6. 漢数字と諸助 詞 教) pp.147- 156	・ 漢数字と諸助詞及び会話文の練習 を行う。	鄭 長勲	
13 - 14		10.27	5 ～ 6	7. 固有数字と諸 助詞 教) pp.157- 165	・ 固有数字と諸助詞及び会話文の練 習を行う。	鄭 長勲	
15 - 16		11.10	5 ～ 6	8. これまでの復 習 教) pp.166-170	・ これまでの復習及び会話文の練習 を行う。	鄭 長勲	
17 - 18		11.17	5 ～ 6	9. 非格式体丁寧 形語尾 教) pp.171- 177	・ 非格式体丁寧形語尾の作り方及び 会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
19 - 20		11.24	5 ～ 6	10. 非格式体否定 形 教) pp.178- 182	・ 非格式体否定形の作り方及び会話 文の練習を行う。	鄭 長勲	
21 - 22		12.1	5 ～ 6	11. 提案・勧誘表 現 教) pp.183- 185	・ 提案・勧誘表現及び会話文の練習 を行う。	鄭 長勲	

23 - 24		12.8	5 ～ 6	12. 希望・願望表現 教) pp.186-187	・希望・願望表現及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
25 - 26		12.10	5 ～ 6	13. 理由、推量の表現 教) pp. 186-191	・理由、推量の表現及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
27 - 28		12.15	5 ～ 6	14. これまでの復習 教) pp. 192-195	・これまでの復習及び会話文の練習を行う。	鄭 長勲	
29 - 30		12.22	5 ～ 6	15. 総括	・韓国，韓国語について全般的な質疑応答を行う。	鄭 長勲	